

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-91	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英 I ・ 331	Revised POLESTAR English Expression I		

<p><b>1. 編修の趣旨及び留意点</b></p> <p>本教科書の編修にあたっては、学習者が<b>日常的な話題</b>を通じて<b>人間性や社会性を育む</b>ことができ、かつ、<b>基本的な英語の運用能力</b>や、<b>英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度</b>を育成できる内容・構成となるよう留意した。</p>
<p><b>2. 編修の基本方針</b></p> <p>編修の基本方針として、学習者が<b>日常的な話題</b>を通じて<b>人間性や社会性を育む</b>ことができ、かつ、<b>基本的な英語の運用能力</b>や、<b>英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度</b>を育成できる内容・構成となるよう留意した。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語活動の題材は学習者に親しみやすく、かつ、学習者の<b>生きる力</b>を育成する内容豊かなものを選んだ。</li> <li>2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して<b>基本事項の定着</b>を重視するとともに、その基礎を活用して<b>英語表現の能力を伸ばす</b>ことが可能となるように選定した。</li> <li>3. 「書く」「話す」の<b>生産的 2 技能</b>を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の<b>受容的 2 技能</b>とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が<b>幅広い言語活動</b>に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。</li> </ol> </div> <p>上述した内容・構成によって、学習者が<b>多様な知識と教養</b>を習得して、主体的に<b>社会の形成に参画</b>し、<b>自他国の伝統・文化を尊重</b>しつつ、<b>国際社会の平和と発展に寄与</b>する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。</p>

<b>3. 対照表</b>		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Classroom English	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第 1 号)</li> <li>・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第 3 号)</li> <li>・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第 3 号)</li> </ul>	前見返し 1, 2  写真全般

英語の基本一文とその要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的な知識を確実に身に付ける。(第1号)</li> </ul>	4~7 ページ
<p>本課 (Lesson 1~22)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</li> <li>・自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</li> <li>・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</li> <li>・地球温暖化防止のために我々に何ができるのかを考えさせる機会を設けた。(第4号)</li> <li>・ドードーやリョコウバトの絶滅を通じて、生命を尊ぶ意識を育めるように配慮した。(第4号)</li> <li>・「国民の祝日」の話題を取り上げて、我が国固有の歴史・習慣について考えさせる機会を設けた。(第5号)</li> <li>・日本文化の代表的な例(花見, 七福神, 阿波踊り, 相撲, 除夜の鐘, 漫画)を取り上げ、英語でこれらを表現する機会を設けた。(第5号)</li> </ul>	<p>8~23, 26~41, 44~51, 54~81, 84~95, 98~105 ページ</p> <p>Pair Work (8 ページ側注ほか) Try (9 ページ側注ほか) Express Yourself (10 ページほか) Pre-Listening Chat (11 ページほか) Research and Report (11 ページほか)</p> <p>Model Dialogs (8 ページほか) 写真・イラスト全般</p> <p>32 ページ 41 ページ 15 ページ 11 ページ, 67 ページ 23~28 行目, 72 ページ, 79 ページ 1~5 行, 91 ページ, 99 ページ 1~5 行目</p>
REVIEW 1~6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</li> </ul>	24~25, 42~43, 52~53, 82~83, 96~97, 106~107 ページ
パラグラフ・ライティング入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と英語の表現形式の差異を通じて、双方の持つ言語的な文化への理解を深める (第5号)</li> </ul>	108~109 ページ
後付 Lesson 別 語いリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の周りの事柄に関する語いを増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号)</li> </ul>	110~126 ページ
後見返し English for instructions	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書内の主な英語の問題指示文を一覧で掲載し、英語による授業を円滑に進められるようにした。(第1号)</li> <li>・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)</li> <li>・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</li> </ul>	後見返し 1, 2  写真全般

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

##### I. 教科書の特徴

###### A. 重要文法事項を1年間でひと通り学習できる全22課構成

- ・章立てはオーソドックスな文法項目立てで、基本的な文法項目を1年間でひと通り学習できます。
- ・REVIEW 1~6で、直前の数レッスンの内容についての復習・定着が可能です。

###### B. 実生活に役立つ発信力（発話力・ライティング力）が身につく

- ・基本重要表現を会話文で提示し、英語による活動に取り組みやすくなっています。
- ・Input→Practice→Output：段階を踏んだ構成で、最終目標の自己表現に無理なくつなげることができます。
- ・最終的には、プレゼンテーションやスピーチの基礎となる**50語程度の英文を書く【話す】ことを目標**にしています。

###### C. 英語で表現することが楽しくなる、多種多様な素材を満載

- ・バリエーションに富んだ活動内容—リスニング、プレゼンテーション、スピーチ、自由英作文など—が可能です。
- ・スポーツ、文化、ファッションから食べ物、学校生活に至るまで、**生徒の学習意欲を喚起する題材**をそろえました。

##### II. 各課の構成

###### A. 正課：1課4ページ/全22課構成で、1年間でひと通りの重要文法事項を学習できる内容としました。

- ・**1ページ目**：各課で学習すべきポイントを含む会話文と、その学習ポイントについての簡潔な解説、および補充例文で構成されています。また側注には Pair Work 活動も用意しています。〈Input〉
- ・**2ページ目**：1ページ目で学習した文法事項を定着させる練習問題を掲載しました。「コミュニケーションを支えるもの」としての文法の役割を重視し、各問題には、当該の文法事項を必要とする文脈を極力与えるように配慮しました。次のような写真や絵〔状況〕を見て英語で表現する問題や、空所補充問題、語句整序問題、リスニング問題など、多彩な問題形式を扱っています。〈Practice〉

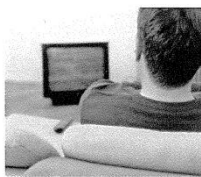
A Describe each picture, using the words in brackets.

1.



[Mary, every day]

2.



[Bob, always, TV]

3.



[Emily, now]

〔図などは実際にはカラー印刷となります（以下同）〕

- ・ **3 ページ目** : 自己表現活動のためのページです。その課で扱う文法事項を含む 30 語～50 語程度のモデル文をもとに、各 STEP の指示に倣って英文を作成し、発表・プレゼンテーションまでの活動へと導きます。〈Output〉
- ・ **4 ページ目** : リスニングから発展させる表現活動のページです。天気予報、宇宙開発、著名人のエピソードなどをテーマにした、その課で扱う文法事項を含むリスニング・スクリプトを聞いて質問に答え、それに関連した内容について書いたり話したりする活動です。4 技能を総合的に用いてその課を締めくくります。

## B. 巻頭要素・補充演習・巻末要素・見返しなど

- ・ 巻頭に「英語の基本一文とその要素」のページを設け、「英語の品詞について」「英語の文型について」「文の種類」を本課に入る前に学習できるようにしています。
- ・ 数課ごとに、それまでの課で学んだ内容を復習できる REVIEW のページを 2 ページずつ設けています。また REVIEW の最後には、モデル文の型を応用して、自由英作文に取り組める FOCUS ON THE FORM を設けています。
- ・ 巻末には「パラグラフ・ライティング入門」として、英語の論理に合った自然な流れの英文を書ける能力を養うための解説を掲載しています。また「Lesson 別語いりリスト」として、各課に出てくる重要語いや表現をまとめた和英リストを掲載しています。
- ・ 見返しでは“Classroom English”と“English for instructions”を扱い、授業での使用が想定される英語表現、および教科書に出てくる英語指示文をまとめ、英語による授業が円滑に進められるようにしています。

## ◆教材配当表〈B5 変形判・128 ページ・4 色〉

	レッスン・タイトル	文法事項・言語材料など
	英語の基本一文とその要素	① 英語の品詞について ② 英語の文型について ③ 文の種類
1	I live in Yokohama	時制(1)－現在形・現在進行形
2	We had two dogs	時制(2)－過去形・過去進行形
3	We're all going to the movies tonight	時制(3)－未来を表す表現・予定を表す表現
4	I've already had some sandwiches	時制(4)－現在完了形・現在完了進行形・ 過去完了形・過去完了進行形
REVIEW 1 (Lesson1～4 の復習) with FOCUS ON THE FORM 1		
5	Can you swim 50 meters?	助動詞(1)－能力・可能性・推量・許可を表す助動詞
6	You must wait until your fever goes	助動詞(2)－義務・必要・忠告・推量を表す助動詞
7	Would you give me a hand?	助動詞(3)－依頼・願望・勧誘・提案を表す助動詞
8	I may have left my umbrella on the train	助動詞(4)－「過去のことに対する推量」などを表す表現

REVIEW 2 (Lesson 5~8 の復習) with FOCUS ON THE FORM 2		
9	It was closed down last month	受動態(1)－受動態の基本
10	It'll be repaired soon	受動態(2)－いろいろな受動態
REVIEW 3 (Lesson 9~10 の復習) with FOCUS ON THE FORM 3		
11	I have too much homework to do	不定詞(1)－不定詞の基本
12	Let me have a look	不定詞(2)－いろいろな不定詞
13	I like singing karaoke	動名詞
14	I felt really sad when I saw the Titanic going down	現在分詞と過去分詞
15	You looked really nice wearing a <i>yukata</i> at the festival	分詞構文
16	It's nearly as high as Tokyo Tower	比較(1)－原級を用いた表現
17	What's the deepest lake in Japan?	比較(2)－比較級・最上級を用いた表現
REVIEW 4 (Lesson 11~17 の復習) with FOCUS ON THE FORM 4		
18	Can you name a Japanese scientist who has won a Nobel Prize?	関係詞(1)－人を先行詞とする関係代名詞
19	There's a shuttle bus that leaves the station every 15 minutes	関係詞(2)－物を先行詞とする関係代名詞
20	She's working in the hospital where I was born	関係詞(3)－時・場所などを先行詞とする関係副詞
REVIEW 5 (Lesson 18~20 の復習) with FOCUS ON THE FORM 5		
21	What would you do if you had a hundred thousand yen?	仮定法(1)－仮定法過去
22	If you had come, you could have met my girlfriend	仮定法(2)－仮定法過去完了
REVIEW 6 (Lesson 21~22 の復習) with FOCUS ON THE FORM 6		
パラグラフ・ライティング入門		
Lesson 別語いリスト		
見返し： [前] Classroom English / [後] English for instructions		

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-91	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英 I ・ 331	<b>Revised POLESTAR English Expression I</b>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I. 全般的な留意点

- A. 自然な文脈において表現を学べるように、ターゲットとなる言語材料を **Model Dialogs (会話文)** 中で示した。
- B. 授業中にコミュニケーション活動の機会が十分取れるように、各課の 1 ページ目に **ペアワーク** を掲載した。3~4 ページ目 (**Express Yourself, Real-World English**) でも、ペアワークができる設問を適宜掲載した。
- C. 学習した文法事項を活用させるために、**自己表現活動 (Short Speech, Presentation)** や **リポートする活動 (Research and Report)** を適宜設けた。
- D. **Real-World English** のページを設け、日常生活のさまざまな場面で使われる英語表現を取り上げた。
- E. 他者の意見と比較して共通点や相違点を整理させるために、**Real-World English** のリスニング活動後、**自分で調べて発表したりする活動** を設けた。
- F. 英語による授業を円滑に進められるように、**問題指示文等はなるべく英語を使用**した。
- G. 学習内容の定着を図るために、数課ごとに **復習問題のページ (REVIEW)** を置いた。

### II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書 (教育基本法との対照表)」をご参照ください。

#### A. 正課 (Lesson 1~22)

Lesson 5

**Can you swim 50 meters?**

助動詞 (1) 一能力・可能性・推量・許可を表す助動詞

**Model Dialogs**

Role-play the dialogs in pairs or groups.

1) Emi: Can you swim 50 meters?  
Dan: Yes, of course I can. Can't you?

2) Emi: Can I have another chocolate?  
Dan: No, you can't. You've already had six!

3) Emi: May I ask you a question?  
Mr. Miles: Of course. How can I help you?

4) Emi: I may be wrong, but I think Carol would like to go out with you.  
Dan: You can't be right — she's going out with Koji!

⑤

⑥

①

②

③

④




**Let's Listen**

Listen to the recording and fill each blank with a suitable word.

Emi ( ① ) answer Paul's question, "What animal ( ② ) jump higher than a house?" The answer is ( ③ ) animal that can jump, because a house ( ④ ) jump.

**Practice**

4 Describe each picture, using the words in brackets.

1.  [Jane, well]      2.  [I, milk]      3.  [you, fever]

5 Fill each blank with suitable words.

1. Thank you for your help. I \_\_\_\_\_ find my way home easily.  
2. The sky is getting dark. It \_\_\_\_\_ rain soon.  
3. You \_\_\_\_\_ be hungry. You only had lunch about an hour ago.

6 Put the words in brackets in the correct order.

1. Can [brother / you / your / I / about / ask] ?  
2. Alex [ walk / was / when / ten months / could / he / old ].  
3. I'm afraid [ trouble / be / Koji / in / might ].  
4. [ I / speak / may / to / Mr. Miles ], please?

7 Put the Japanese sentences into English.

Thanks to electricity, life has become better and more convenient. With electricity, ①私たちが夜を明るくしたり暖かくしたりでき、②料理も簡単になりました。③電気なしの生活なんて、私には想像することができません。

①「明るくする」「暖かくする」はそれぞれ動詞の to be 形式を用いて表現する。

**Historical Tip**

①と②のように、1行で終わる語句を2行目で始まる語句でつなぐことで、2つの語句が1行で並べられることがある。

**Notes**

1. [上手に泳げる]  
2. [飲めない]  
3. [熱があるかもしれない]

**Expressions**

• Dad was my hero when I was young.

**Expressions**

• electricity 電気

**Tip**

①の英文を参考に、②の英文を参考に、1行目の語句を2行目の語句でつなぐようにしよう。

## ①Model Dialogs

その課で学ぶ文法事項を含む会話文です。使用場面・文脈で用例が理解できるように対話形式になっています。

## ②Pair Work

Model Dialogs の会話内の斜体字を入れ替えて、自分の表現で会話練習ができるようになっています。

## ③Key Points

その課で扱う文法事項に関するコンパクトにまとめられた解説です。

## ④Adding Variations

補足的な文法事項を含む例文をその和訳とともに提示しています。

## ⑤Let's Listen

対話を聞いて、その対話の要約文を完成させるリスニング問題です。スクリプトまたは要約文の中に、その課で学ぶ文法事項が含まれています。

## ⑥Practice

文法の確認問題です。写真やイラストの描写問題、空所補充問題、語句整序問題、和文英訳問題など、バラエティーに富んだ問題で構成されています。

⑦

⑧

## ⑦Express Yourself

自己表現活動のためのページです。その課で学んだ文法事項を含む 30 語～50 語程度のモデル文を参考に、各 STEP の指示に従って英文を構成し、スピーチやプレゼンテーションができるようになることを目指します。

## ⑧Real-World English

リスニング問題と表現活動を融合したページです。さまざまなテーマの英文を聞いて質問に答え、最後にそのテーマをもとにした自己表現活動にまでつなげられます。

## B. 巻頭要素・補充演習・巻末要素・見返しなど

### 1. 英語の基本一文とその要素：

本課に入る前に、「英語の品詞について」「英語の句型について」「文の種類」を学習できるページです。

**2. REVIEW 1～6 :**

それまでの課で学んだ内容を復習するためのページです。各 2 ページ構成で、REVIEW の最後には、モデル文の型を応用して自己表現活動をするための FOCUS ON THE FORM を設けています。

**3. パラグラフ・ライティング入門 :**

英語の論理に合った自然な流れの英文を書くための「パラグラフの概念」を説明したページです。

**4. Lesson ごと の語いリスト :**

各課に出てくる重要語いや表現をまとめた和英リストを掲載し、重要表現や語いの定着、自己表現に役立てられるようにしました。

**5. 見返し “Classroom English” / “English for instructions” :**

授業での使用が想定される基本的な英語表現、および教科書に出てくる英語指示文をまとめました。

**2. 対照表**

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
前見返し Classroom English	<p>内容</p> <p>(1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。</p>	前見返し 1, 2	—
英語の基本一文とその要素	<p>内容</p> <p>(1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>内容の取扱い</p> <p>(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p>	4～7 ページ	2
本課 (Lesson 1～22)	<p>内容</p> <p>(1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大</p>	<p>内容</p> <p>(1) ア Pair Work (8, 12ページほか) Short Speech (10, 14ページほか) Pre-Listening Chat (11, 15ページほか) Let's Chat (23, 87ページほか) Presentation (77, 81ページ)</p>	66



	<p>きさなどに注意しながら話すこと。  イ 内容の要点を示す語句や文，つながり  を示す語句などに注意しながら書くこ  と。また，書いた内容を読み返すこと。  エ 聞いたり読んだりした内容について，  そこに示されている意見を他の意見と比  較して共通点や相違点を整理したり，自  分の考えをまとめたりすること。</p> <p>3 内容の取扱い  (1) 中学校におけるコミュニケーション  能力の基礎を養うための総合的な指導を  踏まえ，話したり書いたりする言語活動  を中心に，情報や考えなどを伝える能力  の向上を図るよう指導するものとする。  (2) 聞くこと及び読むこととも有機的に  関連付けた活動を行うことにより，話す  こと及び書くことの指導の効果を高める  よう工夫するものとする。  (3) 生徒の実態に応じて，多様な場面にお  ける言語活動を体験させながら，中学校  や高等学校における学習内容を繰り返して  指導し定着を図るよう配慮するものとし  る。</p>	<p>イ  Practice  (9, 13ページほか)  Express Yourself  (10, 14ページほか)</p> <p>ウ  Try  (9, 13ページほか)</p> <p>(2) ア  Model Dialogs  (8, 12ページほか)  Listening Tips  (9, 13ページほか)</p> <p>イ  Express Yourself  (10, 14ページほか)</p> <p>エ  Research and Report  (11, 15ページほか)</p> <p>内容の取扱い  (1)  Practice  (9, 13ページほか)  Express Yourself  (10, 14ページほか)</p> <p>(2)  Let's Listen  (9, 13ページ)  Real-World English  (11, 15ページほか)</p> <p>(3)  Model Dialogs  (8, 12 ページほか)</p>	
REVIEW 1～6	<p>内容  イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだこ  とや経験したことに基づき，情報や考え  などをまとめ，発表する。</p>	<p>イ  24～25, 42～43, 52～53, 82～  83, 96～97, 106～107 ページ</p> <p>ウ  FOCUS ON THE FORM  (25, 43 ページほか)</p>	6
パラグラフ・ ライティング入門	<p>内容  (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つな  がり示す語句などに注意しながら書く  こと。また，書いた内容を読み返すこと。</p>	108～109 ページ	1
後付 Lesson 別語いリスト	<p>内容  (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要  な表現などを学習し，実際に活用するこ</p>	110～126 ページ	—

	と。		
後見返し English for instructions	内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。  (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。	後見返し 1, 2	—
		計	75

※ 配当時間は正課を各 3 時間（考査・発表等を含む）、正課以外は各見開きを 1 時間として計算。